

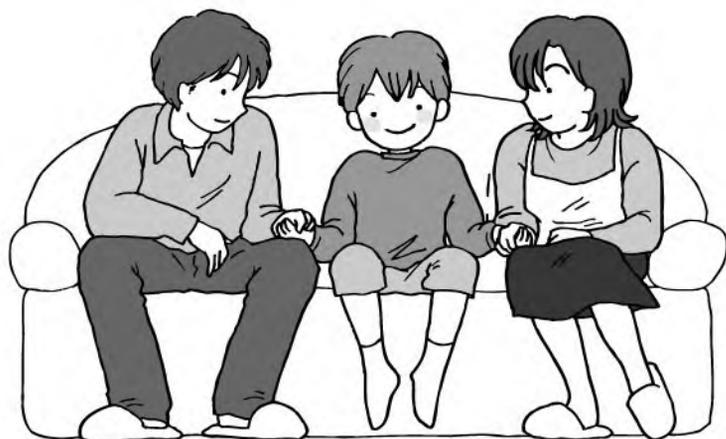
ひとりじゃないよ 〈学 齡 期〉

発達障害支援ハンドブック
2012年度版



富 山 県

1. はじめに・・・子育てをがんばっているあなたへ	1
2. 気づく・・・気になることはありませんか	2
3. わかる・・・発達障害について理解しましょう	4
4. つながる・・・よりよい生活につなげるために	14
5. メッセージ・・・あなたを応援しています	17
6. 相談窓口・・・気軽に相談しましょう	18



子育てをがんばっているあなたへ

子どもはひとりひとり違います。背の高い子どももいれば、小さい子どももいます。走るのが速い子ども、お絵かきが得意な子どももいます。そして、発達がゆっくりだったり、かたよりがあつたりする子どももいます。

子育てをしていると、たいへんと思つたり、子育てがうまくいかないと思つたりすることがあるかもしれません。ときには、他のお子さんと比べて、「うちの子はちがうのかな」と思うことがあるかもしれません。

でも、安心してください。「子育てがしづらい」、「他の子とちがうな」と感じているみなさん、子育ての悩みについて一緒に考えてくれる人がいます。いろいろなサービスにつなげてくれる人がいます。お子さんのこころの発達を支えてくれる場所があります。このハンドブックには、みなさんの子育てを応援してくれる情報がつまっています。

みなさんは、ひとりではありません。

お母さん、お父さん、
家族のみなさん、大切
なお子さんのために、
そして、より楽しく子
育てをするために、こ
のハンドブックをお役
立てください。



気になる行動はありませんか

お子さんの行動で気になることはありませんか？
 学童期に入ると、集団生活の中で困難さを感じる事が多くなります。周囲からは、「変わった子」と見られ、本人はストレスを感じているかもしれません。
 ここでは、発達のかたよりに気づくためのポイントになる点をご紹介します。

ルールを守らない
 または、ルールに
 しばられ融通がきかない

一方的にしゃべる・
 会話が続かない

得意分野と
 苦手分野の差が大きい

感覚(聴覚・視覚・味覚・
 触覚・嗅覚)が敏感

場の雰囲気か
 わからない
 もの怖じしない

思い通りにならないと
 かんしゃくを起こす

落ち着きがない、
 集中力がない

集中すると、
 とことんしようとする

指示が伝わりにくい



同じことを何度も
 繰り返す

.....
 * それぞれ個人差があります。また、すべての項目が当てはまるわけではありません。



この時期に大切なこと

お子さんに生活しにくいようすが見られれば、何に困っているのかよく見てみましょう。

まずは、その子が安心できる環境をつくるのが大切です。接し方にも工夫が必要になります。お子さんが「できること」、「わかること」を増やしていきましょう。最初は、お子さんが興味をもっていることから始めましょう。

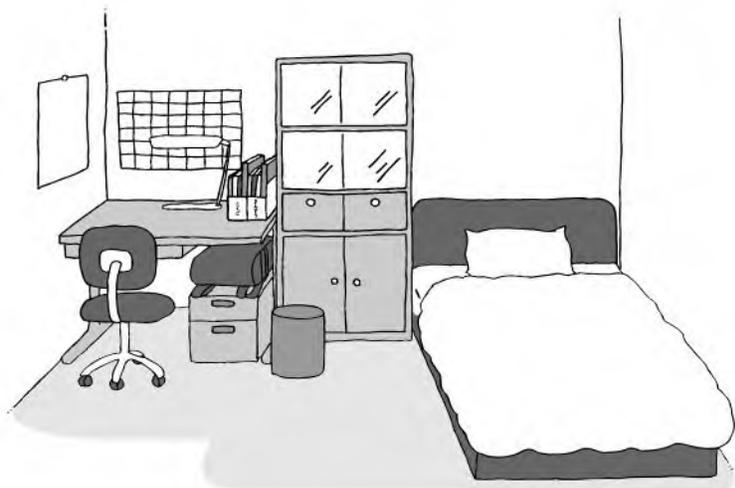


環境を整えましょう①

どのような場面で、どのような工夫をすればお子さんが行動しやすいのか、考えてみましょう。お子さんにとって、わかりやすく行動しやすい環境を整えることで、力が発揮しやすくなります。

○ よけいなものをなくして、すっきりと

- ・ 不要なものは目に入らないようにしましょう。
- ・ テレビなどもつけたままにしないようにしましょう。



安心できる場所

ひとりで落ち着ける場所をつくりましょう。好きなことができる空間、安心できる場所があると、気持ちが落ち着き安定します。



環境を整えましょう②

○ 目で見えてわかるように

・ 絵や文字で、わかりやすく伝えましょう。

学校からかえったらすること

① しゅくだい ② おてつだい ③ じゅんぴ

ていねいに ありがとう！ れんらくちょうを
かくにん

できたかな

	まご	しゅくだい	おてつだい	じゅんぴ
10/15	月	○	○	○
16	火	○	○	○
17	水	○	○	○
18	木	○	△	○
19	金	○	○	○
21	土			
21	日			

こんな接し方を心がけましょう①

「お父さんとお母さんの子どもに生まれてくれて、ありがとう」、「大切に思っているよ」ということが伝わるように接しましょう。

○ 行動をほめてのばしましょう

ほめられるとやる気が出てよい方向に向かいます。やる気が自信を生み、新しいことに挑戦する力になります。

また、得意分野を見つけそれをのばすことは、その子の自信につながります。お子さんの「よさ」を見つけ、「自信」をもたせることが何より大切です。



こだわり

「こだわりは消そうとするのではなく、うまく付き合っていく」ということが基本です。やめさせようとするのではなく、ひとまずその行動を受け入れ見守りましょう。ただ、人を巻き込み迷惑となるようなこだわり行動は消すようにします。不安やストレスが強いと、こだわりが強くなることもあります。安心して生活できるように配慮しましょう。

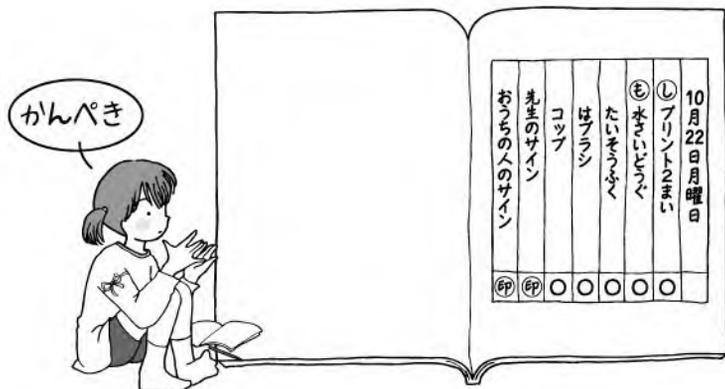


こんな接し方を心がけましょう②

○ 失敗したときでも、温かい言葉をかけましょう

失敗したとしても、できるようになったことに目を向け、「がんばったね」、「できたね」と温かい言葉をかけましょう。

そして、何をどうしたらよいのか、具体的に伝えましょう。



こんな接し方を心がけましょう③

○ 注意するときは、穏やかな声で 短く伝えましょう

子どもは否定的な言葉にとっても敏感です。肯定的な言い方をするように心がけましょう。

また、状況がつかめない場合があります。何をどうしたらよいのか、具体的に伝えましょう。



社会的ルール

社会的ルールは、明確に伝えましょう。いけないことや迷惑なことは、その都度はっきり教えます。具体的にどのようにしたらよいのかも伝えます。



こんな接し方を心がけましょう④

○ いやがることは、無理強いしない

感覚（聴覚・視覚・味覚・触覚・嗅覚）が敏感な場合があります。お子さんが苦痛に感じているようであれば、無理強いしないようにしましょう。

刺激に慣れさせるのではなく、刺激を和らげるように配慮しましょう。



感覚

少し水に濡れただけでも不快に感じたり、雨や風が当たるだけでも痛みを感じたりするお子さんもいます。わがままではなく身体が受け付けられないものであると考えましょう。感覚の困難さに配慮するだけで、お子さんが生活しやすくなる場合があります。

偏食

すききらいなく食べてほしいということは、お母さんが願うところです。けれども、あせってはいけません。苦手な食べ物を無理に食べさせられていると、お子さんは食事すること自体がいやになるかもしれません。最低限の栄養が摂れていれば、大丈夫です。

こんな接し方を心がけましょう⑤

- 少しずつ集中できる時間をのばしたり、
注意を喚起したりしましょう

注意の配分がうまくできないお子さんは、同時に2つのことができなかつたり、指示を聞きそびれてしまつたりすることがあります。また、注意がそれてしまうお子さんの中には、新しい刺激に夢中になってしまうお子さんもいます。

少しずつ集中する時間をのばしたり、声かけで注意を促したりしましょう。



スモールステップ

注意がそれてしまうお子さんの場合、少しずつ集中できる時間をのばしたり、少しずつ問題数を増やしたりしましょう。少しずつでも確実にという「スモールステップ」で進めていくことがポイントです。



こんな接し方を心がけましょう⑥

○ 場面の状況や相手の気持ち、 具体的なやり方を教えましょう

相手の気持ちを想像することが苦手であったり、暗黙のルールがわからなかったりすると、場にそぐわない発言や行動に結びつくことがあります。場面の状況、相手の気持ち、具体的なやり方をその都度伝えていきましょう。



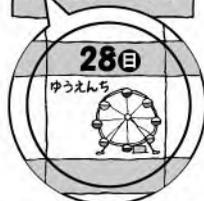
クイズは、名前を言われた人が答えるよ。
手を挙げて、名前を言われたら答えるようにしましょう。



こんな接し方を心がけましょう⑦

○ これからすることを明確にしましょう

前もって日程を伝えたり、順序やルールを明確にしたりしましょう。特に、急な予定の変更があった場合、対応できずとまどうお子さんもいます。予定が変わった場合にも、あらかじめ伝えることが大切です。絵や文字などの視覚的な手がかりがあると、効果的です。



予告

予告は、たいへん有効です。次に何をすべきか事前に伝えることで、お子さんは心の準備ができ、気持ちが安定します。さらに、周囲への興味も広げることができます。



こんな接し方を心がけましょう⑧

○ かんしゃく(パニック)には、 落ち着いて対処しましょう

かんしゃくを起こしたときには、

- ① その場から離し、
静かな場所で
落ち着くのを
待ちます。



- ② 落ち着いた後、穏やかに話を聞きます。



かんしゃく

何よりかんしゃくを起こさないように、予防することが大切です。お子さんが抱きやすい不安を理解したり、事前に予告や説明をしたりするなど配慮しましょう。

気がかりなことがあったら

○少しでも気がかりなことがあったら、 気軽に相談しましょう

発達障害のあるお子さんは、常識にとらわれないユニークな発想をもっている面もあれば、相手の気持ちを考えることが苦手で集団での行動がうまくできなかつたり、また、興味のもち方が独特であつたりする面もあります。「わがままな子」、「変わった子」と、誤解されることも少なくありません。友達の何気ない言葉に傷ついたり負担を感じたりして、自信をなくしてしまうこともあるかもしれません。

気がかりなことがあったら、相談してみましょう。できるだけ早くから適切な支援を受けることで、お子さんのすこやかな成長が促進されることとなります。発達障害のあるお子さんを診ている病院や専門機関では、ご家族の方に、お子さんの発達や特性に合わせたかかわり方のアドバイスをもらうこともできます。

家族以外の方にもお子さんを理解してくれる人がいると、お子さんにとって大きな支えになります。



放課後等デイサービススタッフさんからのメッセージ

私たちは、障害がある子どもたちの放課後や長期休みなどの余暇を、地域の中で楽しく安全に過ごせるように支援しています。子どもたちの年齢や嗜好にあわせた活動・過ごし方を考え、いろいろな活動・経験の中で、個々に好きなこと、好きな人をたくさん見つけてもらいたい、子どもたち・家族にとって、安心できる場所、好きな場所になってほしいと願います。成長過程の子どもたちの今「大切にしたいこと」「必要なこと」に対して、また、家族の思いに対して、寄り添い、お手伝いしていきたいです。ありのままの自分を受け入れてくれる人がひとりでも多くいたら、元気になれて、少し頑張れて、気持ちよく過ごすことができる気がします。

これは、おとなも子どもも同じ。みんなそれぞれが自分らしく過ごせるように…。そんなことを思います。



家族の理解を得ましょう

- 家族はお子さんの一番の応援団です
「いつでも味方だよ」とはっきり伝え、
お子さんを安心させてあげましょう
- ・ 家族の協力を得られるようにしましょう。ひとりで抱え込むのは禁物です。
 - ・ 家族でお子さんへの接し方が異なると、お子さんは混乱してしまいよい効果は得られません。その子に合った接し方を家族で話し合しましょう。
 - ・ きょうだいには、つい我慢させてしまうこともあるでしょう。時にはその子と二人だけの時間を作り、「あなたが大切」ということを伝えましょう。



きょうだい

発達障害のお子さんを育てていると、どうしてもその子に時間をとられてしまいがちになります。「なぜ、○○ばかりかわいがるんだ」ときょうだいが感じるのも自然なことです。短い時間でよいので、お母さんを独占できる時間を作ってみましょう。中学生であれば、話をじっくり聞く時間をとります。そして、大切な存在であることを伝えていきましょう。

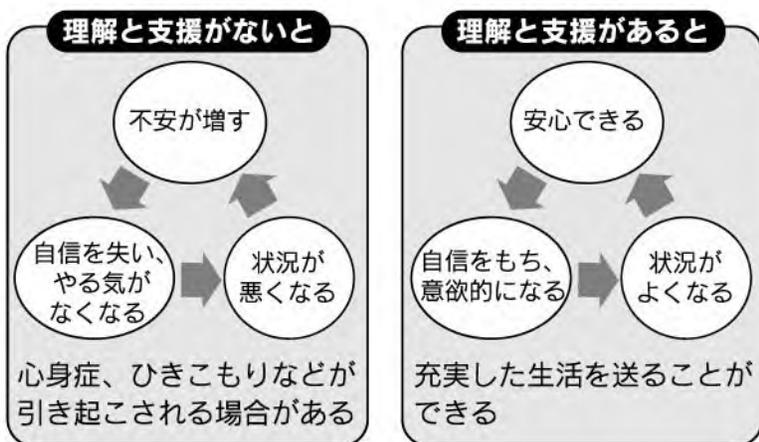
能力を発揮するために

○ 正しい理解と適切な支援があれば、能力を発揮できます

発達障害の人の支援を考えると、ついでできないことばかりに目を向けがちになります。しかし、人は誰もが得意不得意をもっているものです。その得意不得意の差が大きいのが、発達障害の人のもつ大きな特徴ともいえます。よい面に目を向けることで、独特な発想力、豊かな記憶力、ずば抜けた行動力など、さまざまな力が見えてきます。

実際に、特技を生かして成功している人もたくさんいます。中には、記憶力や計算力が優れていて教授になった人もいれば、発想が豊かで画家になった人、俳優になった人もいます。彼らのもつ関心がすばらしい業績に結びつくこともあります。

発達障害は、病気でも悪いことでもありません。正しい理解と適切な支援があれば、能力を思う存分発揮することができるでしょう。お子さんのもつ可能性を最大限にのばしていけるようにしましょう。



あなたを応援しています



岩田 卓也 いわたメンタルクリニック院長からのメッセージ

発達障害は、生まれ持った脳の特徴で、よい面もあれば困った面もある、一生お付き合いする特徴です。子どもさんの特徴をなくそうと躍起になる必要はありません。発達促進的な環境で育った子どもさんは、コミュニケーションの苦手さや場の読めなさ、融通のきかなさはどんどん薄くなり、自然とよい面がどんどん大きくなっていきます。社会生活を送る上で、支障がなくなることも少なくはありません。

私たちが子どもさんを理解し一緒に行動しようとすることで、子どもさんの人生はとても有意義なものになるはずですよ。



宮森 加甫子 発達障害者支援センター長からのメッセージ

ご家族にとってお子さんの成長は喜ばしいものの、発達年齢にかかわらず不安や迷いも抱えがちなものです。お子さんの中には、発達の特性のために周囲に受け入れられず悩んでいたりと、置かれた環境に適応しようとして困難を感じたりしている方もいます。

このような場合、なるべく早い時期からお子さんの特性を理解し、その特性に合った支援を続けていくことで、発達が促されたり社会に適応していく力を育んだりすることができます。

県内でもいろいろな機関で発達相談や発達支援、就労支援、情報提供など様々なサービスを行っております。お子さんの発達についてより深く理解し、適切な関わり方や環境づくりについて一緒に考えていきませんか？お子さんとご家族のお気持ちを大切にしながら、お一人お一人のよさが十分発揮されていくようサポートさせていただきます。

まずは、お近くの窓口へご相談ください。



秘密は守られます 気軽に相談しましょう



県総合教育センター

施設名	住所	電話番号
総合教育センター	富山市高田525	076-444-6351

児童発達支援センター

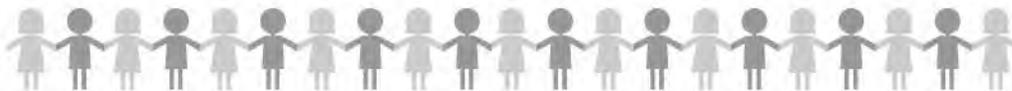
施設名	住所	電話番号
富山県高志通園センター	富山市下飯野36	076-438-5694
富山市恵光学園	富山市石坂新950-1	076-431-5828
高岡市きずな子ども発達支援センター	高岡市江尻279番地	0766-21-3615
砺波広域圏わらび学園	南砺市岩武新314番地	0763-22-6055
魚津市立つくし学園	魚津市友道373-2	0765-24-3240

県発達障害者支援センター

施設名	住所	電話番号
発達障害者支援センターありそ	富山市西金屋6682	076-436-7255

相談支援事業所（児童）

事業所名称	住所	電話番号
自立生活支援センター富山	富山市新川原町5-9 レジデンス新川原1階	076-444-3753
富山市恵光学園	富山市石坂新950番地1	076-431-5828
あゆみの郷	富山市稲代1023	076-467-4477
社会福祉法人 新川会 地域生活相談室	中新川郡上市町稗田字七郎谷1-32	076-472-1118
地域生活支援センター 自然房	中新川郡上市町柳町23番地	076-473-1644
魚津市障害者生活支援センター	魚津市大光寺1235番地	0765-23-5260
相談支援事業所 らいとほうす	黒部市生地吉田字越湖9602番5	0765-32-4661
工房あおの丘	下新川郡入善町道古34番地の3	0765-72-2248
指定特定相談支援事業所 スマイル	下新川郡入善町柵山3410番地1	0765-74-2580
高岡市きずな子ども発達支援センター	高岡市江尻279番地	0766-21-3615



相談支援事業所（児童）

事業所名称	住 所	電話番号
氷見市障害者福祉センター我家	氷見市幸町34番13号	0766-74-0334
こもれびの里相談支援センター	氷見市鞆川1855	0766-74-3001
地域活動支援センターつどい	射水市三ヶ3721-4	0766-55-4110
ふらっと	射水市太閤町4番地	0766-56-6661
あいネットいみず	射水市七美727番地	0766-86-8522
福祉相談室つくし	射水市中村135番地	0766-52-3989
障がい者サポートセンターきらり	砺波市幸町1-7 富山県砺波総合庁舎1階	0763-33-1552
地域活動支援センターとなみ野	砺波市中央町10-5	0763-23-6540
地域活動支援センターひまわり	小矢部市埴生字北反畝1476	0766-67-7340
地域生活支援センター すまいる	小矢部市石動町9番30号	0766-68-3822
多機能型事業所 花椿かがやき	南砺部市八塚580-1	0763-22-2252
障害者支援施設 花椿あおぞら	南砺市蛇喰1302	0763-64-8880
障害者支援施設 花椿きらめき	南砺市蛇喰1302	0763-64-8880
相談支援センターあい	南砺市院林82番地1	0763-22-3535

県児童相談所

施設名	住 所	電話番号
富山児童相談所	富山市東石金町4-52	076-422-5110
高岡児童相談所	高岡市本丸町12-12	0766-25-8314

県心の健康センター

施設名	住 所	電話番号
心の健康センター	富山市蜷川459-1	076-428-1511



発達障害に係る富山県内の支援医療機関一覧

※調査(調査対象:226機関)で「医療的支援実施」と回答のあった(うち公開を了承している)医療機関について掲載しています。

※受診等にあたっては、事前に医療機関へご確認ください。

		医療機関名	住所・電話番号	診療科	対象年齢			
					幼児 (就学前)	小・中 学生	高 校 生	18 歳 以上
富山 圏域	富山市	医療法人社団 和敬会 谷野医院	富山市総曲輪2-8-2 076-421-3648	精神科	○	○	○	○
		ほんだクリニック	富山市丸の内2-3-8 桜井ビル2F 076-420-5211	精神科	○	○	○	○
		福田医院	富山市室町通り11-1-26 076-425-4978	精神科	—	—	—	○
		医療法人社団 八木小児科医院	富山市奥田寿町7-14 076-441-0911	小児科	○	○	—	—
		みさきクリニック	富山市梅沢町2-7-13 046-422-2665	心療内科	—	○	○	○
		みみはなのど・あそクリニック	富山市西長江1-1-11 076-423-5215	耳鼻咽喉科	△1	△1	—	—
		いわたメンタルクリニック	富山市石坂新886-3 076-439-6660	精神科	○	○	○	—
		富山市立富山市民病院	富山市今泉北部町2-1 076-422-1112	小児科・精神科	○	○	○	○
		医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院	富山市北代5200 076-436-5800	精神科	○	○	○	○
		南富山 中川病院	富山市大町146 076-425-1780	精神科	—	○	○	—
		国立大学法人 富山大学附属病院	富山市杉谷2630 076-434-7313	小児科	○	○	○	—
		佐伯クリニック	富山市栃谷200-2 076-436-2311	小児科・心療内科	○	○	○	○
		富山県高志リハビリテーション病院	富山市下飯野36 076-438-2233	小児(神経)科	○	○	○	○
		富山県高志通園センター診療所	富山市下飯野36 076-438-5694	小児科	○	○	○	—
		富山県立高志学園	富山市下飯野51-1 076-438-5678	小児(神経)科	—	○	○	—
		独立行政法人国立病院機構 富山病院	富山市婦中町新町3145 076-469-2135	小児科	○	○	○	○
		あゆみの郷	富山市稲代1023 076-467-4477	小児科	○	○	○	○
高岡 圏域	高岡市	高岡市きずな子ども発達支援センター	高岡市江尻279 0766-21-3615	小児(神経)科	○	○	—	—
		川田クリニック	高岡市京町5-8 0766-20-7880	精神科	—	—	—	○
		富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院	高岡市永楽町5-10 0766-21-3930	小児科	○	○	○	—
		内科小児科井川クリニック	高岡市大坪町1-2-3 0766-22-3028	小児科	○	○	—	—
		川田病院	高岡市京町8-1 0766-23-3737	精神科	—	—	—	○
富山 圏域	射水市	姫野病院	射水市放生津町15-4 0766-84-0055	小児科	○	○	○	○
		南砺市民病院	南砺市井波938 0763-82-1475	小児科	△2	△2	—	—
新川 圏域	魚津市	宮本内科小児科医院	魚津市新角川1-7-22 0765-22-0122	小児科	○	○	—	—
		キッズベアー診療所	魚津市本江3354 0765-24-7793	小児科	○	○	—	—
		嶋田医院	下新川郡入善町高畠269 0765-76-0121	小児科	○	—	—	—

※ △1 …… 「発達障害」の評価、治療等は未実施。構音障害を有する子どもの発音指導実施。

※ △2 …… 「発達障害」を専門とはしていない。



学齢期 地域資源マップ

担任だけではなく、特別支援教育コーディネーターの先生も困りごとの相談に応じています。

学校

学校の窓口

県教育委員会で実施している相談会などです。お住まいの近くで気軽に相談することができます。

地区相談会

お子さんの就学前から学校卒業後の発達や就学、進路など心配のことや困っていることについて、新川、富山、高岡、砺波の各地域で、教育、保健、福祉の各分野の専門家が相談に応じています。

県総合教育センター教育相談部

お子さんの発達や人間関係、気になる行動、学業や進路、家庭教育などの相談に応じています。

こまட்டな生活のこと

各市町村 福祉担当課

発達に心配のあるお子さんの相談に応じています。

地域の相談・支援の中核を担う機関として位置づけられています。

児童発達支援センター

子育て、心身の発達、言葉の遅れなどについて、相談に応じています。

福祉サービスや専門機関の紹介をしています。また、いろいろな制度や社会資源の利用についての案内もしています。

相談支援事業所

地域で安心して暮らし続けられるように、困ったこと、分からないことなどの相談に応じています。

気がかりなことを相談できる相談機関はたくさんあります。困っていたら、支援を受けましょう。お子さんのよりよい成長を願って、みんなで一緒に考えていきましょう。

特別支援学校

学校説明会や体験入学に参加し、学校の教育方針や教育内容等を知ることができます。その際、教育相談も実施しています。体験入学以外にも就学や進路について教育相談を実施しており、お子さんの教育や生活について一緒に考えます。

- ・にいかわ総合支援学校 ・高志支援学校
- ・しらとり支援学校 ・富山総合支援学校
- ・富山大学人間発達科学部附属特別支援学校
- ・高岡支援学校 ・こまどり支援学校
- ・となみ総合支援学校 ・となみ東支援学校

放課後等デイサービスでは、自立に向けての日常生活について支援をしたり、創作活動や作業活動を行ったりしています。また、地域交流の機会を提供したり余暇活動を行ったりしています。

福祉サービス事業所

放課後等デイサービス、ショートステイなど、生活するために必要な支援を行っています。

ショートステイとは、保護者の方が病気その他の理由でお子さんを一時的に預けたいときに利用できる制度です。

親の会

県発達障害者支援センター「ありそ」

関係機関と一緒に、発達障害のある本人やその家族が、地域で幸せに過ごしていけるように支援しています。

県児童相談所

お子さんの発達や行動など、子育てに関する悩みや相談に応じています。

県心の健康センター

性格・対人関係の悩みや不登校、摂食障害、ひきこもりなど、精神保健福祉全般について相談に応じたり診療を行ったりしています。

専門医療機関

発達障害とは？

発達障害のある人を理解するために、自閉症スペクトラム障害(ASD)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)など、主な発達障害の特徴を紹介します。スペクトラムには連続という意味があり、自閉症の特徴が強く表れている状態からその傾向が少し見られるような状態まで、広い連続体の一部として自閉症をとらえるものです。

これらのタイプのうちどれにあたるのか、障害の種類を明確に分けて診断することはたいへん難しいとされています。障害ごとの特徴がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合も多いからです。また、年齢や環境により目立つ症状が違ったり発達によって成長したりするので、診断された時期により診断名が異なることもあります。

大切なことは、どんなことができ、何が苦手なのか、どんな魅力があるのか、その方の特性に目を向けることです。特性を受け止め、その特性に合わせたかかわりをもつようにしましょう。



参考になるホームページ

- ① 富山県発達障害者支援センター あおぞら <http://www.aozora-toyama.jp/>
(講座や相談の案内など、役に立つ身近な情報が盛りたくさん)
- ② 富山県発達障害者支援センター ありそ <http://www.tym-ariso.org/>
(他機関での研修や相談の案内など、役に立つ身近な情報が盛りたくさん)
- ③ 発達障害情報・支援センター <http://www.rehab.go.jp/ddis/>
(発達障害のある子ども・おとなの支援に役立つQ&Aなど)
- ④ 発達障害教育支援センター <http://icedd.nise.go.jp/>
(聞く・話す・書く・計算するなどの特性に合わせた教材・機具の紹介)

富山県

平成25年1月発行

